



イラスト提供: 柏原高等学校

たんぼ子ども塾

丹波地域(丹波篠山市・丹波市)の6高等学校を会場に、高校生が先生となり小学生(小学4~6年生)を対象に、各高校の特色を活かした講座を開催しました！



7月22日(月) 篠山産業高校
わくわく工作教室

古くなった机などを利用してキックボードを作りみんなで試乗し遊びました。



7月25日(木) 篠山東雲高校
田んぼの生きものを調べよう!!

田んぼ(ビオトープ)に入って魚や昆虫などの生きものを採集し観察しました。



7月31日(水) 氷上西高校
プログラミング講座

IchigoJamやScratchを使用したプログラミング講座を受け、ゲームを楽しみました。



8月2日(金) 篠山鳳鳴高校
デカンショ節を唄おう

楽器演奏やクイズやカルタを交え「デカンショ節」をより身近に感じました。



8月5日(月) 氷上高校
みんなで楽しく寄せ植え教室

自分でデザインを考え、自分で花を選び鉢に寄せ植えを体験しました。



8月8日(木) 柏原高校
ドライアイスの不思議

ドライアイスを使用してエアホッケーや空気砲など様々な実験を行いました。





ご挨拶

大木 康次 本部長

平素は丹波青少年本部の活動に、格別のご支援とご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。現在スマートフォンの普及により青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、いじめ、不登校、児童虐待、ネット依存症など、青少年をめぐる問題は年々深刻さを増しています。

そのような中、県青少年本部では毎年スマホサミットを開催されていますが、今年度は「ひょうごの子ども達がインターネット利用のルールづくりについて考える」をテーマに開催されました。県下10,000人の小・中・高校生を対象としたスマートフォンアンケートの結果発表、インターネット利用対策活動優秀取組発表、インターネット利用対策活動優秀取組事例、ひょうごスマホ宣言2020の発表、人とつながるオフラインキャンプの発表などがありました。

丹波でも令和元年度事業として、「スマホで変わる～つながる、広がる、楽になる～」についての講演会、及び「スマホで地域活動は楽になるか?」をテーマに講師と会場とのクロストークの場をもちました。「あいさつで子どもを元気にする」の取り組みを丹波地域全体で取り組んでいる!では、90%以上の回答に、「人にあいさつを交わすようになった」との実践発表がありました。会場全体では「フィルタリングの利用」、「ルールづくり」、「スマホ利用時間のマナー」、「情報モラル」等についてお互いに確認しました。

しかしそのような中でも、ネット上でのけんかやトラブル、いじめも発生しています。子どもの回答では「何らかのトラブルが1度から何度もある」について、小学生で6%(2.5%)、高校生で24%(12%)もの回答がありました(注:カッコ内はその保護者の回答)。全国の小中学生がいじめについて考える「全国いじめ問題子供サミット」が1月25日文部科学省で開かれ、1,460人の子供たちが「令和の時代のいじめ対策」について議論が交わされ、「顔を合わせて話すことの大切さを知るため、SNSを使わない日を設ける」、「クラス全員でレクレーションをする」、「普段話さない人と話す機会をつくる」など、直接コミュニケーションをとることの大切さが話し合われました。

スマホ等の便利な機器を子どもたちは利用する時代になりましたが、便利なものをうまく利用することが、いま必要なのではないのでしょうか。

丹波青少年本部会議

令和元年6月20日(木)、県立丹波の森公苑多目的ルームにおいて「令和元年度丹波青少年本部会議」を開催しました。

会議は「平成30年度事業報告」「令和元年度役員選出」「令和元年度基本方針」等について原案どおり可決承認されました。

令和元年度の基本方針は「見せようおとなの背中 伸ばそう子どもの芽」をスローガンに、「多様な活動主体と連携した協働事業の推進」をはじめとして、4本柱の施策体系に基づく各事業から成っています。



丹波地域スクラム会議開催

丹波青少年本部と丹波県民局は令和元年6月20日(木)、県立丹波の森公苑多目的ルームにおいて「青少年を守り育てる丹波地域スクラム会議」を開催しました。

この会議は、青少年愛護条例の意義を十分に踏まえ、関係機関・関係団体等が行う非行防止の健全育成活動や関係業界の自主規制等に対する理解を深めるとともに、県民運動をより充実強化する方策を検討協議することが主な目的で、各種関係業界並びに関係機関の代表者、学校、税務署、警察署や行政等の関係者に出席いただき毎年開催しています。

今年は丹波警察署生活安全課長から丹波地域の青少年非行や青少年問題の実態について情報提供していただいた他、福知山税務署からは未成年者飲酒防止対策等について、丹波健康福祉事務所からは、薬物乱用防止に関する取り組みについて説明いただきました。

また、講師に西岡敏成 氏(元関西国際大学教授、元姫路警察署長)をお招きし、最近の未成年者のスマホ・SNSの使用実態等についての講話をいただきました。



第16期こころ豊かな人づくり500人委員

青少年の健やかな成長や夢の実現を応援するセミナーの第16期の活動が、令和元年8月にスタートしました。

丹波地域では12名の委員が参加され、現在課題になっていることものの貧困や不登校、ひきこもり、ネット依存のほか、体験活動や居場所づくり、非行防止などの問題について、ワークショップ、現場研修などを通じ2年間かけて学びます。



○令和元年度の活動内容

【全県講座】

開催日	場 所	会 議 名 等
元 . 8 . 26 (月)	兵庫県民会館	基本講座 開講式・記念講演
元 . 9 . 29 (火)	兵庫県民会館	教養講座 少年の主張兵庫県大会
元 . 10 . 18 (金)	兵庫県民会館	教養講座 子供の居場所づくり交流会
元 . 12 . 15 (日)	兵庫県公館	教養講座 スマホサミットinひょうご
2 . 3 . 1 (日)	姫路キャッスル グランヴィリオホテル	教養講座 ふるさとづくり青年隊活動報告会

【丹波地域講座】

開催日	場 所	会 議 名 等
元 . 9 . 13 (金)	丹波の森公苑	基本講座 オリエンテーション 講 師 野外活動協会事務局長 下前康夫 氏
元 . 10 . 27 (日)	丹波の森公苑	実践講座 丹波の森フェスティバル
元 . 11 . 23 (土)	丹波篠山市四季の森 生涯学習センター	実践講座 たんぱっ子!学びフェスタ
元 . 12 . 21 (土)	丹波の森公苑	実践講座 丹波縄文の森塾 スタッフ参加
2 . 1 . 18 (土)	丹波の森公苑	教養講座 丹波の森大学聴講 講 師 兵庫県立人と自然の博物館 名誉館長 岩槻邦男 氏
2 . 1 . 19 (日)	丹波の森公苑	教養講座 まちづくり交流会 丹波青少年本部長賞表彰式
2 . 2 . 8 (日)	丹波の森公苑	教養講座 丹波の森若者塾 合同フォーラム



丹波の森若者塾

丹波地域の6高等学校の高校生が、丹波地域で活動を行う協力大学と連携しながら、1年を通じて地域課題解決のための研究活動を行う事業です。

柏原高校

丹波地域在住外国人の交流と防災支援と柏原町内の車いすマップづくり

協力:神戸学院大学

丹波市在住外国人との交流を深めるため外国人ママのクッキング教室を開催し、水餃子やブラジル料理等に挑戦しました。

また、3年前より作成しているバリアフリーマップのため、利用する人の大変さを知るため実際に車いすに乗り、注意する場所などを調査し、念願の車いすマップを完成させました。

さらに、市島町豪雨災害の経験から作られた絵本を題材に美術部員の協力のもと紙芝居の作成や、韓国で防災紙芝居を披露するなど、防災意識を向上させる活動を行いました。



氷上西高校

関西大学佐治スタジオと連携して地域活性化に取り組む

協力:関西大学佐治スタジオ

丹波各地で年間50回以上まちづくり活動を、自分達がやりたいことを自分達で考え実際に行動して形にすることを活動の方針として取り組みました。

青垣地区では若者の居場所がなく、自分達で居場所を作るために、放課後カフェを月1で開催。高校生だけでなく、地域住民、保護者の方も気軽に立ち寄れるカフェとなりました。

また、古民家リノベ、地域のお祭り等にも参加し、地域活動やボランティアの方とのコラボなど、人とのつながりを得ることができ、やりたいことができる環境がある丹波市の魅力に気付くことができました。



氷上高校

地域行事への参加を通して、地域活性化に貢献し得る活動について学ぶ

協力:福知山公立大学

地域活性化をテーマに、地域の方と関わりをもつため、地域イベント「シルバーふれあいの集い」に参加し、自分たちの高校だからこそ出来る事を活かして、高校で育てた花でペットボトルに寄せ植え体験、豚汁の提供、野菜、味噌の物産物の販売などを行い地域の方々、高齢者の方々と交流もつ事ができました。

また、「若者と考える、みんなで考える丹波市の未来」といったタウンミーティングに参加し、福知山公立大学、丹波市議会議員の方々意見交換を行い、改めて丹波市を考えることができました。



篠山鳳鳴高校

篠山の高校生が考えた獣がいイベント

協力:神戸大学

総合学習「地域探求」の一環として、自然という事を題材に、若い世代や都会に住まわれている方等は獣害の実態について詳しく知られておらず、獣害問題の解決するために「獣害」をテーマに活動を行う事に決めました。

客観的な意見を求めアンケートを実施、獣害の現状確認、専門家へ質問等を行い獣害を食べて問題の解決をしようと考えました。今後、田舎の方や農業関係者だけでなく多くの人に広める「害獣を食べて活かす」ことをテーマに獣害問題解決への取り組みを行っていきます。



篠山産業高校

篠山の観光事業と地域貢献これからの篠山

協力:流通科学大学

観光客が少ない丹波篠山の問題をテーマに考えました。それには、自分たちがまずは魅力を知らなければと流通科学大学の清水先生からご指摘をいただき、色々と訪ね歩きそれを活かして、流通科学大学の留学生を対象にツアーを開催し楽しんでいただく事ができました。篠山にあるものを前面にだしYou TubeやSNSを活用し観光客を増やしていきたい。

また、地元丹波篠山をPRするため甲冑ボランティア等の地元のイベントに参加し、幅広い世代と触れ合うことができました。



篠山東雲高校

地域農業の新しい可能性~神戸大学連携事業に参加して~

協力:神戸大学

神戸大学「実践農学入門」に参加し、農家さんの元で山の芋、黒豆等の栽培を通して、地域の方々と触れ合いながら、地域や農業の課題を発見し解決策の検討をしていく活動を城北地区で農業体験を通しながら行いました。体験することにより、地域における素晴らしい資源を発見することができました。その資源を活用した合宿&農業体験ができるような環境を考えSNS等で発信し、丹波篠山市に泊まり、美味しいもの食べ、農業にふれ地域の行事を楽しめる企画を考えていきます。



丹波の森若者塾合同フォーラム

今年度の各高校での取り組みの成果発表と参加者による意見交換を行う令和元年度「丹波の森若者塾」合同フォーラムを、2月8日(土)、県立丹波の森公苑・多目的ルームで開催しました。

当日は、6校がパワーポイントで作成した資料を中心に発表し、意見交換の後、指導を受けてきた大学教員から講評を受けました。

発表後の質疑応答では、地域の参加者から激励の言葉や貴重な意見を聞くこともできました。

また、今年度は、合同フォーラム終了後に参加した高校生同志がお互いの発表に対して質問や新しいアイデア等を出し合い交流を深める交流会を開催しました。



▲ 柏原高校の発表

▼ 氷上西高校の発表



▲ 交流会の様子

高校生通学列車等マナー指導を実施

令和元年度高校生通学列車等マナー指導は、6月、11月に丹波地域内外の関係13校で、各校の実情に合わせた取組みが行われました。

丹波青少年本部では6月21日(金)、11月27日(水)に、警察署や少年補導員連絡協議会、防犯協会、市の職員等と合同で列車内指導を実施しましたが、マナー違反をする生徒はありませんでした。

13校でマナー指導を実施された内容は以下のとおりです。

6月の強調月間実施内容(構内指導等含む)

- ・最寄りの駅構内でマナー指導を実施(9校)
- ・通学列車内でマナー指導を実施(5校)
- ・自転車通学・徒歩通学のマナー指導を実施(3校)

11月の強調月間実施内容(構内指導等含む)

- ・最寄りの駅構内でマナー指導を実施(7校)
- ・通学列車内でマナー指導を実施(4校)
- ・自転車通学・徒歩通学のマナー指導を実施(3校)



丹波青少年本部長賞

丹波青少年本部では、令和2年1月19日(日)、県立丹波の森公苑多目的ルームにおいて、丹波地域で日常優れた青少年育成活動に貢献されている個人及び団体のみなさまに対し、標記の賞をお贈りしました。

本年度の受賞者は、次の方々です。

丹波地区更生保護女性会春日支部上三井庄班 様
丹波地区更生保護女性会青垣支部グループしゅんらん 様
北村 由美 様
近成 俊昭 様



丹波出会いサポートセンター 会員募集中

あなたの「出会い→結婚」を兵庫県がサポートします！



友だち追加はこちらから

兵庫県では、結婚を希望する独身男女に、1対1のお見合いの機会を提供します。

ビッグデータを活用した当センターのシステムでは、自分で好みの異性を検索するだけでなく、異性のお見合い申込みデータから、自分のことを好んでいそうな異性を瞬時に解析し、あなたの候補者選びをお手伝いします。どうぞお気軽にお申し込みください。お待ちしております。



申込み方法については、
ホームページをご覧ください。
<https://www.msc-hyogo.jp/>

丹波出会いサポートセンター(丹波の森公苑1F)
TEL:0795-78-9130
開館日:水・土・日曜日 9:00~17:15
祝日・年末年始(12月29日~1月3日)を除く
公益財団法人 兵庫県青少年本部

※会員登録には、メール・インターネットのできるパソコン、スマートフォン等が必要です。

「賛助会」入会のお願い ~青少年健全育成のために、ご協力お願いします~

丹波青少年本部の自主事業は、皆様からお寄せいただいた温かい賛助会費により実施しています。丹波地域の青少年の健全育成のために、是非『賛助会』にご入会ください。年間を通じ、随時受け付けております。

賛助会費

普通賛助会員(個人) 年額一口 2,000円

普通賛助会員(団体・企業) 年額一口10,000円



兵庫県マスコット はばタン

ご入会・お問い合わせは・・・ 丹波青少年本部事務局 TEL:0795-72-5168まで

編集後記

丹波青少年本部では、平成12年から続いている「たんば子ども塾」という事業があります。高校生が講師になって、小学生に色んなことを教えてくれています。全6回の講座で、参加者の児童のほとんどが「たんば子ども塾」に参加して良かったと、自分が高校生になった時に講師役としてこの「たんば子ども塾」に参加したいと答えてくれている児童もいました。高校生は、教えることは難しいが理解をしてもらった時に嬉しかった等、よい経験ができたと答えてくれています。

これからも子どもたちには、色んな経験の中でたくさんのお話を身につけてほしいと思います。